

12月6日

実現する神のことば

ルカ福音書1章11～23節

1:11 ところが、主の使いが彼に現れて、香壇の右に立った。

1:12 これを見たザカリヤは不安を覚え、恐怖に襲われたが、

1:13 御使いは彼に言った。「こわがることはありません。ザカリヤ。あなたの願いが聞かれたのです。あなたの妻エリサベツは男の子を産みます。名をヨハネとつけなさい。

1:14 その子はあなたにとって喜びとなり楽しみとなり、多くの人もその誕生を喜びます。

1:15 彼は主の御前にすぐれた者となるからです。彼は、  
ぶどう酒も強い酒も飲まず、まだ母の胎内にあるときから  
聖霊に満たされ、

1:16 そしてイスラエルの多くの子らを、彼らの神である主  
に立ち返らせます。

1:17 彼こそ、エリヤの霊と力で主の前ぶれをし、父たちの  
心を子どもたちに向けさせ、逆らう者を義人の心に立ち  
戻らせ、こうして、整えられた民を主のために用意するの  
です。」

1:18 そこで、ザカリヤは御使いに言った。「私は何によっ  
てそれを知ることができましようか。私ももう年寄りですし、  
妻も年をとっております。」

1:19 御使いは答えて言った。「私は神の御前に立つガブリエルです。あなたに話をし、この喜びのおとずれを伝えるように遣わされているのです。

1:20 ですから、見なさい。これらのことが起こる日までは、あなたは、ものが言えず、話せなくなります。私のことばを信じなかったからです。私のことばは、その時が来れば実現します。」

1:21 人々はザカリヤを待っていたが、神殿であまり暇取るので不思議に思った。

1:22 やがて彼は出て来たが、人々に話すことができなかった。それで、彼は神殿で幻を見たのだとわかった。ザカリヤは、彼らに合図を続けるだけで、口がきけないままであった。

今日はアドベント第二週です。

ローソクが2本、  
輝いています。

今年のクリスマス、どのように素晴らしい  
クリスマスになるか、

神様はどんな素晴らしいことをなしてくださるか、  
期待して備えたいと思います。

先週は「覚えておられる神様」  
というテーマで説教をしました。

- ① 祈りを覚えておられる神様
- ② 救い主を送る約束を覚えておられる神様
- ③ 民を覚えておられる神様。

というテーマで語らせていただきました。

今日は「実現する神のことば」と言うテーマで  
20節のことば

「私のことばは、その時が来れば実現します。」  
を中心に味わっていきたいと思います。



第一のテーマは  
「人間の弱さを乗り越えて  
実現する神のことば」

神様はザカリヤ、エリサベツの夫婦を  
選んで、お用いになりました。

忠実敬虔な祭司ザカリヤは高齢でした。  
神様は高齢のザカリヤを用いてくださいました。

忠実敬虔ではありましたが  
長年変化のない礼拝をささげていました。

高齢ゆえマンネリ化した期待感のない  
礼拝となっていました。

高齢という熟練、経験、安定というメリット。

新しいことが起こる期待感、変化に対する  
適応能力が失せていました。

適応能力の失せた頑固なザカリヤを神様はお用い  
なりました。

指導者も高齢の指導者管理者は  
手堅いですが、新しいチャレンジ、  
挑戦は苦手になってきます。

豊かな経験のメリットとデメリットがあります。  
ザカリヤは経験が不信仰になってしまいました。神  
様は問題あるザカリヤの家庭から  
救い主の先駆けとなるヨハネを  
この世に送り出してくださいました。  
神様は高齢者もお用いになります。  
機敏な変化への対応能力のかけたものも  
神様は用いてくださいます。

不妊という悲しさを持っている  
ザカリヤ、エリサベツの夫婦を選んで  
用いられました。

大きな使命を果たすヨハネをお与えになりました。  
た。

不妊ということは当時は  
実りがない、収穫がないという印象がありました。  
今日も、実りがなかった、成功しなかった、  
結果を出せなかった。

失敗ばかりという人生の人をも  
神様はお用いになります。

過去に縛られず、神様に期待しましょう。

ザカリヤは信じなかったために  
20節「ですから、見なさい。これらのことが起こ  
る日までは、あなたは、ものが言えず、話せなく  
なります。私のことばを信じなかったからです。」  
と口がきけなくなっていました。  
神殿から出てくると身振り手振りで話さなけれ  
ばなりませんでした。

しかし、これによって

「彼は神殿で幻を見たのだ」と仲間の祭司たち、

また妻のエリサベツも理解しました。

神様がザカリヤに語られた事がわかりました。

神様は不信仰、失敗さえも用いられます。

第二のテーマは  
神様は人間の期待すること、  
望むこと以上の  
はるかに素晴らしいことを実現させる  
神様であります。



ザカリヤ、エリサベツの夫婦は子供の  
与えられることを願い祈っていました。  
神様は彼らの願いにこたえられました。  
彼らは普通の子を願っていたでしょうが  
地上で生まれた最大の人を  
お与えになりました。

マタイ11章11節

まことに、あなたがたに告げます。女から生まれた者  
の中で、バプテスマのヨハネよりすぐれた人は出ませ  
んでした。しかも、天の御国の一番小さい者でも、  
彼より偉大です。

神様は最後の預言者、生涯のナジル人、  
救い主の道備えをする器を彼らに与えて  
くださいました。

ザカリヤの祈りをきっかけに

神様の計画はヨハネの誕生にとどまらず、  
次いでガブリエルはマリヤのところに向かい  
イエス様の誕生を告知します。

神様の計画はどんどん大きく進展していきます。

子供を願ったザカリヤに、  
史上最大の人ヨハネを、  
さらにマリヤのところから  
救い主を送る計画を勧められる神様。  
ザカリヤの祈り、願いの何倍も  
大きいことをなさる神様をあがめましょう。

祈りの本当の目的で何ですか。  
個人の願い、欲望、自己実現、  
地上での幸せは祈りの目的ではない。  
祈りのゴールは神様の栄光、  
永遠の世界、永遠の命に至る  
スケールの大きい世界で神様は  
実現させられます。

ヨハネはどんな意味で  
地上で生きた最大の人であったのでしょうか。

ヨハネはヘロデ王が弟の妻ヘロデヤを  
自分の妻にしたことを非難したことで  
牢に入れられています。

さらに宴会の時ヘロデヤの娘の踊りのご褒美にヘロ  
デはヨハネの首をはねています。

30歳余りのヨハネは  
無残な死に方をしています。

この時ザカリヤは存命中でしたでしょうか。  
天国でこの悲劇を見たのでしょうか。

でもヨハネは誰よりも先にイエス様はメシヤであると告知しました。

イエス様の働きの備えをして、十字架の道を歩むイエス様の道備えをしました。その死に方においても十字架を道備えをして神に栄光を帰しています。

最大の人はいエス様に最もよく仕えた人です。イエス様に仕えることの尊さを心にとめていきましょう。

**第三のテーマは  
人間の思わぬ時になさる神様の御業**



ザカリヤの人生も晩年まで平安であっても  
変化のない人生、新しいことへの期待感の  
ない時代、バビロン捕囚から帰国しても  
500年間、ペルシャ、アレキサンダー、ローマ帝国  
に支配され、沈滞していた時代に  
神様はみわざを開始されました。

今週の聖句。イザヤ40章8節

草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことは永遠に立つ。

イザヤ35章1～2節

荒野と砂漠は楽しみ、荒地は喜び、サフランのように花を咲かせる。

盛んに花を咲かせ、喜び喜んで歌う。

神様の時が来ると荒れ野、砂漠、不毛のところ  
にもにサフランが咲き、神様の恵みの御業が  
行われます。

信仰と期待を持ってこの季節を歩みましょう。

このクリスマスに神様は何をなさるのか、  
わたしの家庭に、私の人生に何をなさるのか、  
期待と祈りをもってクリスマスの備えをしたいと思  
います。

祈り

父なる神様、アドベント第二週の礼拝を感謝します。今日も変わらない神様のことばを聞くことができてありがとうございます。草は枯れ、花はしぼむ、しかし神のことばは永遠に立つという約束を覚えます。弱い者、小さなものを目覚めさせて用いてくださることを感謝します。今の時も用いて神様の御業が進展していることを信じます。神様の時に砂漠に花が咲き、荒れ地に泉がわくことを信じます。私たちの日々の生活に恵みの泉を湧きあがらせ、花の咲く日々としてください。主の名によって祈ります。